

巻 頭 言

岡山県立岡山操山中学校
岡山県立岡山操山高等学校
校 長 藤 岡 隆 幸

本校は、令和2年度から5年度までの4年間、文部科学省「WWL コンソーシアム支援構築事業」の拠点校として、「未来の岡山と世界の Well-being（すべての人が身体的・精神的・社会的に幸福）の実現に貢献するグローバル・リーダーの育成」をテーマにカリキュラムづくりに取り組んできました。

グローバル社会で活躍することを目指し、6つの資質・能力（「幅広く深い教養」「課題発見・解決能力」「新たな価値を創造する力」「主体的に行動する力」「他者と協働する力」「自他を尊重する心」）を定めました。そしてこれらを育成するために、全ての生徒が取り組む「未来航路」（総合的な探究の時間）及び「SOZAN STEAM」（学校設定科目）に加え、希望者が課外活動時間を活用して更なる探究活動や交流活動を行う「SOZAN 国際塾」、そして教員が教科指導力向上を目指す「GLOBAL STUDIES」の4つを研究開発単位として設け、日頃の授業との往還・連携を図り、校内外との連携を促進し、学校全体（併設中学校を含む）で一体となって教育活動を展開しています。

研究期間中の2年間はコロナ禍となり、課題研究などで、対面で行う活動は中止や変更を余儀なくされましたが、オンラインによる実施や計画の修正を行いながら、生徒の活動の場をできる限り狭めないよう取り組みました。事業指定の最終年となった今年度は制限がなくなり、直接の交流も再開できるなど、従前のように取り組むことができました。

そのうち「未来航路」では、2年生の2月に課題研究発表会を開催し、全員がグループ活動の成果をポスターセッションや代表生徒によるプレゼンテーションで行います。1年生や中学生、関わっていただいた大学教員、保護者や他校の教員が参観します。例として、今年度は教育をテーマに探究してきたグループが、「未来航路に関する考察と改善案の提示」と題し、過去の取組との比較、新たな「SOZAN STEAM」との連動の状況、他校の実践例との比較などから現状分析を行い、課題を提起し、具体的な改善策を提案しました。生徒自ら学習活動の当事者として、「未来航路」が資質・能力の育成に十分機能しているか、もっとこのような活動が必要なのではないかという提案でした。生徒が学習全体を俯瞰的に捉え、自らの活動をよりよいものにしていく様子に、学びに向かう主体性の現れを感じました。

また、「SOZAN 国際塾」では、より高度な探究活動や多様な他者との交流活動を希望する生徒が、「未来航路」と課外活動を組み合わせ、コンテストへの参加や探究成果の発表、岡山大学の留学生との交流、豪州の姉妹校とオンラインや訪問交流を通じて資質・能力を伸ばします。特に今年度は、岡山大学の支援により、イギリスで開催された「OYW (One Young World)」の世界の若者の国際サミットへ代表生徒が参加したり、県教委主催の「高校生国際会議 Summit for “Well-being” in Okayama 2024」において高校生が考える「Well-being」な社会の実現の宣言を発信したりする機会を得ました。

こうした活動の成果の共有や還元にはまだまだ工夫が必要ですが、様々な活動に打ち込む友達の様子や成果に刺激を受けているという生徒の声が聞かれます。これからも、生徒がロールモデルや本物に触れて憧れを抱き、高みや困難なことに挑戦する勇気や、何かを成し遂げたいという意志が育つために、学校は様々な学習や活動の機会・選択肢を提供し、生徒の背中を押していきたいと思えます。

本報告書は3年間の研究成果をまとめたものです。御高覧いただき、御教示いただければ幸いです。最後になりますが、本校の研究に御支援、御指導を賜りました関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。